

生きる力を育て 絆を深める埼玉教育

幼児期の取組が… **小学校以降の教育** につながる

小学校就学前の教育

幼児期の発達段階を踏まえ、その後の教育の基礎を培う

生活

- ◇ 健康で安全な生活をする
- ◇ 自分のことは自分でする
- ◇ 物を大切にする

興味・関心

- ◇ 好奇心や探究心をもっていろいろなものにかかわる
- ◇ 文字や数量などの感覚を豊かにする
- ◇ 自分の思いを表現する

子育ての目安「3つのめばえ」

- ◇ 人とかかわる力を身につける
- ◇ 言葉で伝え合う
- ◇ きまりや約束を守る

他者との関係

【小学校就学前の子どもの発達の特徴】

- 全身運動が滑らかで巧みになり、快活に飛び回るようになる。
- これまでの体験から、予想や見通しを立てる力が育ち、自信をもてるようになり、心身共に力があふれ、意欲が旺盛になる。
- 仲間の意志を大切にしようとし、役割の分担が生まれるような協同遊びを行い、満足するまで取り組もうとする。
- 様々な知識や経験を生かし、創意工夫を重ね、遊びを発展させる。
- 認識力や思考力が高まり、自然事象や社会事象、文字などへの興味や関心が深まる。
- 身近な大人に甘え、気持ちを休めることもあるが、様々な経験をとおして自立心が一層高まっていく。



5歳

0歳

運動能力の高まり	仲間の中の一人としての自覚	思考力の芽生え
全身のバランス	目的のある集団行動	創造力の広がり
運動機能の高まり	自己主張と他者の受容	葛藤の経験
行動範囲の拡大	ごっこ遊びと社会性の発達	言葉の発達
活発な探索行動	周囲の人への興味・関心	象徴機能と言葉の習得
「座る」から「歩く」へ	特定のひととの情緒的な絆	愛着と人見知り
		言葉の芽生え

子育ての目安「3つのめばえ」

～子どもの発達や学びの連続性を踏まえた教育活動を目指して～

- ★ 子育ての目安「3つのめばえ」は、小学校入学までに「これだけは身につけたい」という子育ての目安を示すものです。
- ★ 幼稚園教育要領及び保育所保育指針に示されたねらいと内容を踏まえながら、幼児期の特性である「生活」「他者との関係」「興味・関心」の広がりを目指し、この視点から小学校入学までに身につけてほしいことを、子育ての目安「3つのめばえ」として取りまとめました。
- ★ 子どもにかかわるすべての人が、子どもの発達や援助について共通理解を深め、家庭・地域社会、幼稚園・保育所・認定こども園、小学校が一体となって子どもを育てていくことを目指しています。

子育ての目安「3つのめばえ」

小学校入学までに 子どもたちに身につけてほしいこと

生活

- ◆ 健康で安全な生活をする
- ◆ 自分のことは自分でする
- ◆ 物を大切にする

他者との関係

- ◆ 人とかかわる力を身につける
- ◆ 言葉で伝え合う
- ◆ きまりや約束を守る

興味・関心

- ◆ 好奇心や探究心をもっていろいろなものにかかわる
- ◆ 文字や数量などの感覚を豊かにする
- ◆ 自分の思いを表現する

幼稚園・保育所・認定こども園で身につけてほしいこと

生活

健康で安全な生活をする

先生や友達と食べることを楽しむ

- ・食事に关するきまりやマナーを守りながら、楽しく食べる
- ・食べることの大切さがわかり、食べ物に関心をもつ
- ・生活の流れや準備・片づけの手順などを意識して、一定の時間内に食べ終えようとする

戸外で体を動かす

- ・十分に体を動かして遊ぶ

安全に気をつけて行動する

- ・危険な場所や危険な行動がわかり、安全に気をつける

自分のことは自分でする

生活に必要な活動を自分でする

- ・着替えや持ち物の始末を自分でする
- ・脱いだ靴をそろえる
- ・困ったときに自分で考えて解決しようとしたり、先生や友達に相談したりする

物を大切に

自分の物や皆で使う物を大切にする

- ・遊んだ後の片づけをする
- ・共同で遊具を使い、協力して片づけをする
- ・水や紙などを大切に使う

興味・関心

好奇心や探究心をもっているいろいろなものにかかわる

生活の中で美しいものや心を動かす出来事に触れる

- ・身近な自然などに触れて遊び、美しさや不思議さなどを感じる
- ・自然物や自然の事象を遊びや生活に取り入れ、四季を感じる
- ・動植物と触れ合い、生命の大切さに気づく

興味・関心をもったものに集中して取り組む

- ・考えたり工夫したりして遊ぶ
- ・いろいろなものに関心を持ち、より深く知ろうとしたり、試したり確かめたりする
- ・話や短い物語を集中して聞く

文字や数量などの感覚を豊かにする

生活の中で文字や数量に触れる

- ・文字で伝えることの楽しさや意味に気づき、生活の中で文字を使う
- ・生活のいろいろな場面で、物や人の数を数えたり比べたりする
- ・生活のいろいろな場面で、量を測ったり比べたりする

自分の思いを表現する

自分の思いを表現する

- ・思ったことや感じたことを言葉で表現しようとする
- ・考えたことや経験したことをいろいろな方法で表現する
- ・絵本や物語の世界を楽しみ、感動を味わったり、演じて遊んだりする

他者との関係

人とかかわる力を身につける

友達と一緒に遊ぶ

- ・年少児などに思いやりをもってかかわる
- ・自分の気持ちとは異なる友達の気持ちを理解したり、共感したりする
- ・自分が嫌なことや困ることは友達にもしない
- ・友達と共通の目的に向かって取り組み、やり遂げた喜びを味わう

言葉で伝え合う

親しみをもって日常のあいさつをする

- ・元気よく「はい」と返事をする
- ・先生や友達に「おはよう」「さようなら」「ありがとう」「ごめんなさい」が自然に言える

言葉をとおして先生や友達と心を通わせる

- ・先生や友達の話を注意して聞き、理解する
- ・自分の思いや考えを先生や友達に言葉で伝える

きまりや約束を守る

友達と共に生活する充実感を味わう

- ・友達と楽しく生活する中できまりの大切さに気づき、守ろうとする
- ・集団の生活の流れや時刻を意識し、みんなと一緒に行動しようとする
- ・よいこと、悪いことがわかり、考えながら行動する
- ・互いのよさを認め合い、友達と協力して活動する

～幼児期の教育から小学校教育へ～

子育ての目安「3つのめばえ」を活用して

★子どもの学びや育ちの連続性を見通す

幼児期の生活の充実、小学校以降の学びや学習の基盤となるものです。幼稚園・保育所・認定こども園の先生方は、小学校の学習や生活をよく知り、長い見通しをもって、幼児の育ちを支えましょう。

★小学校への引継ぎを確実に

幼稚園・保育所・認定こども園では、子どもの育ちを支えるための資料として、要録を作成し小学校に送付することになっています。幼児期における子どもの育ちと指導の過程を小学校に引き継ぎ、連続性のある指導が行われるようにするため、要録の送付を確実にいきましょう。

その際、要録の送付と併せて、子どもの入学先の小学校に記載事項の説明を行うことが重要です。連絡会などを開催し、先生方が直接顔を合わせることで、双方向の話し合いができ、理解が深まります。

★学校見学や1日体験入学

幼児が入学前に小学校の様子を知ることにより、小学校生活を具体的にイメージすることができ、入学への期待が高まります。幼稚園・保育所・認定こども園の先生方にとっても、小学校の様子を知るよい機会でもあります。修了間近の時期には、小学校生活への見通しをもって子どもの育ちを再確認し、充実した小学校生活を始められるように送り出しましょう。

★日常的な連携を

小学校に入学した後も、幼稚園・保育所・認定こども園の先生方が小学校の授業参観をしたり、子どもの状況について小学校の先生と話し合ったりするなど、小学校と日常的に連携することにより、子どもの課題に適切に対応しやすくなります。幼・保・小教職員合同研修会などに積極的に参加して連携を図りましょう。

家庭で身につけてほしいこと

子育ての目安「3つのめばえ」は、幼稚園・保育所・認定こども園と家庭が共に子育てに取り組んでいくことを目指し、家庭における生活場면을例示しています。ここでは、保護者との連携に活用していただけるよう、家庭向けパンフレットの一部を紹介します。

幼児の生活は、家庭を基盤として、地域社会や幼稚園・保育所・認定こども園へと連続的に営まれています。幼児の生活全体がより充実したものとなるように、家庭と十分な連携をとり、共通理解を深めて、健やかな子どもの育ちを支えていきましょう。



生活

規則正しい生活リズムを身につけましょう

- ・「早寝、早起き、朝ごはん」の習慣を身につける
- ・登園などの時刻を意識し、行動する

戸外で遊びましょう

- ・進んで戸外に出て遊ぶ
- ・安全に気をつけて行動する
- ・交通ルールを知り、守る

自分のことは自分でしましょう

- ・着替えや衣服の始末をする
- ・かばんや帽子などを決まった場所にしまう
- ・脱いだ靴をそろえる

物を大切にしましょう

- ・遊んだ後の片づけをする
- ・食べ物や紙などを大切に使う

自主性がめばえます



他者との関係

家族とのあたたかいつながりをつくりましょう

- ・園での出来事や思ったこと、考えたことを家族に話す
- ・家の手伝いをする
- ・兄弟姉妹や友達と遊具などの貸し借りをし一緒に遊ぶ
- ・小さい子どもやお年寄りに思いやりをもって接する

返事やあいさつをしましょう

- ・元気よく「はい」と返事をする
- ・「おはよう」「いただきます」「ごちそうさま」「ありがとう」「ごめんなさい」が自然に言える

きまりや約束を守りましょう

- ・よいこと、悪いことがわかり、考えながら行動する

社会性がめばえます



興味・関心

いろいろなものへの興味・関心を高めましょう

- ・身近な自然などに触れ、美しさや不思議さなどを感じる
- ・興味・関心をもったことにじっくりと取り組む
- ・いろいろなことに疑問をもち、尋ねる

生活の中で、文字や数などに触れましょう

- ・家の人に絵本や物語を読んでもらう
- ・数を数えたり、集めたり、分けたりする
- ・園の名前や自分の年齢などが言える

夢をもちましょう

- ・やってみたいことやなりたい人などのあこがれをもつ

学びへの意欲がめばえます



子育ての目安「3つのめばえ」

小学校入学を前に、家庭における子育てを振り返るために、保護者会などで話し合う際の参考資料として御活用ください。

家庭の生活環境を振り返りましょう

例 寝る時刻や起きる時刻を決めていますか

毎日、同じ時刻に寝たり、起きたりすることで、生活のリズムが整います。規則正しく生活することが、幼稚園・保育所・認定こども園、小学校で元気に過ごす活力になります。早寝早起きを習慣づけましょう。

子どもに育つこと 正しい生活リズムを身につけることにより、体が丈夫になり、元気に活動できます

親のかかわりを振り返りましょう

例 子どもの目を見て話をきいていますか

うれしい、楽しい、悲しいなどの思いを家族と共有できるように、子どもの気持ちに寄り添うことが大切です。子どもの目を見て話をきき、子どもの話に相づちをうちましょう。

子どもに育つこと 自分が家族にとって大切な存在であることを実感して自信をもち、楽しく通園することができます

子どもの遊びや体験を振り返りましょう

例 子どもの「なぜ？」を一緒に考えていますか

子どもたちは遊ぶ中で、「ふしぎだな」「おもしろいな」と興味・関心をもち、いろいろなことに気づいたり、考えたり、試したりしています。その中で、「できた」「わかった」という体験を重ね、学ぶことのおもしろさを知っていきます。興味をもったときが、学びのタイミング。子どもの疑問を一緒に考え、応えましょう。

子どもに育つこと 「できた」「わかった」という体験を重ね、学ぶことの楽しさを知ります

子どもの育ちを確かめましょう

幼児期に育てたいことは？

幼児期には、幼児は、家庭において親しい人間関係を軸にして営まれていた生活からより広い世界に目を向け始め、生活の場、他者との関係、興味・関心などが急激に広がり、依存から自立に向かうと言われています。

子育ての目安「3つのめばえ」は、「生活」「他者との関係」「興味・関心」の3つの広がり注目し、この視点から、小学校入学までに子どもたちに身につけてほしいことをまとめています。

これらの内容は生涯にわたる人格形成の基礎となるものであり、幼児期に身につけることにより、小学校生活の充実はもとより、「生きる力」の基礎をはぐくむこととなります。



がめばえます =



「生きる力」の基礎になります